

あいさつ

山々に雪の便りが届く季節となりました。

いよいよ 2021～2022 シーズンの幕開けを待つばかりとなりました。

日頃は、当連盟の諸事業にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。

さて昨シーズンは、多くの降雪のあり県内で予定されていた大会及び行事が多く関係者のご協力により実施できたことに感謝申し上げます。

ただ、自県開催の常陸宮賜杯第71回中部日本スキー大会については、コロナ禍と中部7県の感染状況により中止となりました。

先シーズンを振り返ると、全日本大学スキー大会では小山敬之が大回転優勝、また山口蓮太が全日本ジュニアスキー選手権兼全日本中学生選抜スキー大会クロスカントリー中学3年生の部10kmクラシカル優勝と輝かしい成績を残しました。

しかしながら全国規模の大会については、新型コロナウイルス感染症対策として、主要大会の中止を発表されるなど、選手にとって非常に残念なシーズンとなってしまいました。

現在は気持ちを新たにトレーニングに取り組みながら選手強化を図っており、今シーズンの主要大会での上位入賞を目指していきたいと思っております。

今後の課題として、県連登録会員の維持増強、ジュニア選手の育成とジュニア層拡大があげられます。

登録会員の増強については、スノースポーツ多様化に合わせ現状を把握し、スノースポーツをより魅力がありより楽しさを実感できるようなカリキュラムをスキー場とタイアップして出来るよう検討していきたいと思っております。

ジュニア選手の育成と拡大に向けて、楽しみながら基礎・応用技術を習得でき、飛躍的にレベルアップできるような練習環境の整備を進めていきたいと考えております。

最後に、協賛会員皆様方の長年にわたるご支援に感謝申し上げます、来たるシーズンの諸事業が降雪に恵まれ、会員皆さまのご協力により、スムーズに運営ができ、そしてより多くの成果が上がることを期待し、ご挨拶いたします。

石川県スキー連盟
会長 山本 外勝